



～事例検討を通じて、 具体的なヤングケアラー 支援を考える～

家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響を受けることもあります。実際に、ヤングケアラーに対してどのような支援をしたらいいかなど、それぞれの立場で考え、関係機関・団体・事業者などが連携した支援ができるよう考えてみませんか。

講師

たかがいと ふみや

一般社団法人ヤングケアラー協会理事 **高垣内 文也氏**



【プロフィール】

元ヤングケアラー(若者ケアラー)。20歳の時に祖母がアルツハイマー型認知症と診断され、約10年間介護に関わる。2019年より個人でヤングケアラー支援を開始、その後2022年にヤングケアラー協会へ参画、理事に就任。外資系製薬会社2社、自動車メーカーにて勤務した後、現在は株式会社オリイ研究所にて事業開発の責任者をつとめる。経産省「始動Next Innovator」7期生、JHeC2022優秀賞。

日時

令和5年10月21日
(土)
14:00～16:00
(受付13:00～)

会場

久留米シティプラザ
5階大会議室
(久留米市六ツ門町8-1)

対象

ヤングケアラーに
関わる市内の
支援機関などの
支援者

申込期間

令和5年9月11日(月)～10月13日(金)

申込方法

電子申請・FAXにてお申込みください。
FAXの場合は裏面の申込書をご利用ください。

先着200名

電子申請はこちら



電子申請QRコード

問い合わせ先

久留米市こども子育てサポートセンター (久留米市城南町15番地3)
TEL: 0942-30-9302 FAX: 0942-30-9718
MAIL kokosapo@city.kurume.lg.jp

ヤングケアラーに関わる支援機関等研修会（10月21日（土）開催） 申込書

ふりがな
氏名

所属機関・団体名
事業所名

役職・肩書

所属機関等の住所
（ない場合は個人のもの）

所属機関等の電話番号
（ない場合は個人のもの）

所属機関等のメールアドレス
（ない場合は個人のもの）

申込期間：令和5年9月11日（月）～10月13日（金）

講師への質問事項（研修時間の都合上、回答できない場合もあります）